

建設機械市場の現状

1. 建設機械出荷金額推移

2003年度の建設機械出荷金額（内需・外需の合計）の総合計は、1兆4,224億円で前年度比21.2%の増加となった。内需は、6,777億円で11.1%の増加、外需は、7,447億円で32.2%の増加となった。その結果、内需は1996年以来7年振りの増加、外需は3年連続の増加と、総合計では2年連続の増加となった。また今年度初めて、内外需の金額が逆転した。

製品別の出荷金額を見ると、コンクリート機械の外需が21.9%

減、基礎機械及び、補給部品の内需が若干の減少となった以外は、全製品、内需、外需で前年度を上回った。

特に伸びが大きかったのは、内需では、建設機械の主力製品である油圧ショベルの前年度比20.4%増加、出荷額1,921億円を中心に9製品が増加し、内需全体で11.1%増加した。

また外需では、内需同様に油圧ショベルの前年度比40.2%増加、出荷額3,459億円を中心に9製品と補給部品が増加し、外需全体では32.2%の増加という結果となった。地域別に見ると、全9地区中8地区で増加、とりわけ北米、中国が大きく増加した。

表一に過去9年間の建設機械出荷金額実績（内需・外需）の推

表一 建設機械出荷金額実績（内需・外需）

（百万円）

		1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
トラクタ	内需	128,953	144,529	111,500	88,576	89,095	91,587	87,567	63,612	67,375
	外需	109,209	130,673	151,012	185,873	93,258	83,276	87,020	100,236	108,696
	計	238,162	275,202	262,512	274,449	182,353	174,863	174,587	163,848	176,071
油圧ショベル	内需	376,808	402,362	312,824	247,496	263,380	267,425	188,967	159,521	192,052
	外需	172,868	189,301	214,421	208,604	176,600	163,180	172,457	246,681	345,935
	計	549,676	591,663	527,245	456,100	439,980	430,605	361,424	406,202	537,987
ミニショベル	内需	131,932	140,899	113,169	84,133	82,904	77,058	62,286	50,683	57,222
	外需	17,968	15,988	25,405	34,978	45,808	48,200	41,716	51,793	77,065
	計	149,900	156,887	138,574	119,111	128,712	125,258	104,002	102,476	134,287
建設用クレーン	内需	247,535	290,949	235,651	146,524	121,583	114,087	88,509	75,703	88,724
	外需	35,341	43,155	52,596	33,711	26,689	15,814	16,801	23,539	29,454
	計	282,876	334,104	288,247	180,235	148,272	129,901	105,310	99,242	118,178
道路機械	内需	62,549	69,138	56,413	44,681	39,171	39,754	35,182	32,521	34,443
	外需	10,862	16,283	15,078	15,605	11,556	16,661	11,917	12,338	14,134
	計	73,411	85,421	71,491	60,286	50,727	56,415	47,099	44,859	48,577
コンクリート機械	内需	56,954	62,161	49,335	32,857	30,707	32,612	24,787	20,312	23,955
	外需	5,338	5,061	3,446	1,924	1,320	1,651	1,302	3,290	2,571
	計	62,292	67,222	52,781	34,781	32,027	34,263	26,089	23,602	26,526
トンネル機械	内需	59,064	65,755	63,684	53,323	40,213	38,231	28,503	31,639	34,896
	外需	2,426	3,142	2,568	5,895	2,734	2,902	5,652	3,398	12,887
	計	61,490	68,897	66,252	59,218	42,947	41,133	34,155	35,037	47,783
基礎機械	内需	44,318	41,789	31,437	20,466	19,882	18,067	14,267	14,257	13,983
	外需	4,580	2,638	2,147	986	986	994	818	260	654
	計	48,898	44,427	33,584	21,452	20,868	19,061	15,085	14,517	14,637
油圧ブレーカ・圧碎機	内需	24,090	25,503	19,816	15,120	15,435	15,563	13,808	11,758	13,135
	外需	5,226	6,433	8,116	8,105	8,375	7,391	6,709	7,414	8,060
	計	29,316	31,936	27,932	23,225	23,810	22,954	20,517	19,172	21,195
その他建設機械	内需	92,251	90,239	76,093	57,690	60,752	60,908	46,610	43,285	45,605
	外需	22,150	30,175	27,798	24,997	27,897	23,696	26,339	50,797	74,008
	計	114,401	120,414	103,891	82,687	88,649	84,604	72,949	94,082	119,613
補給部品	内需	156,471	166,352	156,443	138,426	128,335	126,242	115,766	106,865	106,343
	外需	69,018	74,430	82,118	66,029	60,474	64,871	63,170	63,616	71,189
	計	225,489	240,782	238,561	204,455	188,809	191,113	178,936	170,481	177,532
合計	内需	1,380,925	1,499,676	1,226,365	929,292	891,457	881,534	706,252	610,156	677,733
	外需	454,986	517,279	584,705	586,707	455,697	428,636	433,901	563,362	744,653
	計	1,835,911	2,016,955	1,811,070	1,515,999	1,347,154	1,310,170	1,140,153	1,173,518	1,422,386

<参考>

- ・道路機械：ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、平板式締固め機械、アスファルトフィニッシャ、モータグレーダ、ロードスタビライザ、アスファルトプラント等
- ・コンクリート機械：コンクリートポンプ車、トラックミキサ車、コンクリートパイプレータ、コンクリートプラント等
- ・その他建設機械：ドリル、可搬式コンプレッサ、重ダンプトラック、不整地運搬車、建設廃棄物破砕機等

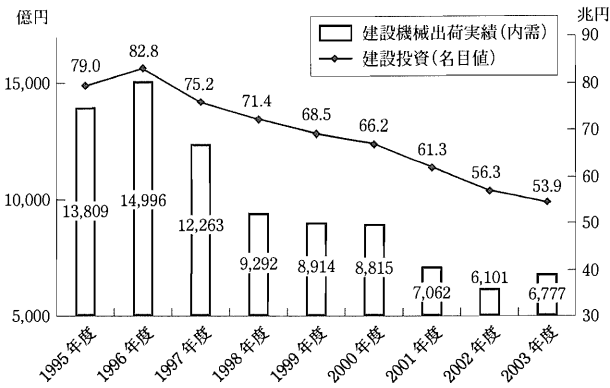
統計

移を示す。

2. 市場動向

(1) 国内市場

建設機械の国内出荷金額実績は、図一に示す通り、建設投資の増減を反映した推移を示しており、我が国の建設投資動向は、建設機械ユーザの投資意欲に大きな影響を与えていることを裏付けている。しかしながら、2003年度については、建設投資（名目値）が前年度比3.6%減少の見通しに対して、建設機械の国内出荷金額は、表一に示す通り、全製品で前年度を上回り、総額は前年度比11.1%増加した。これは海外需要の拡大に伴い、国内からの中古車輸出増加を背景とし、油圧ショベルの更新を主とした新車需要が高まった結果と思われる。

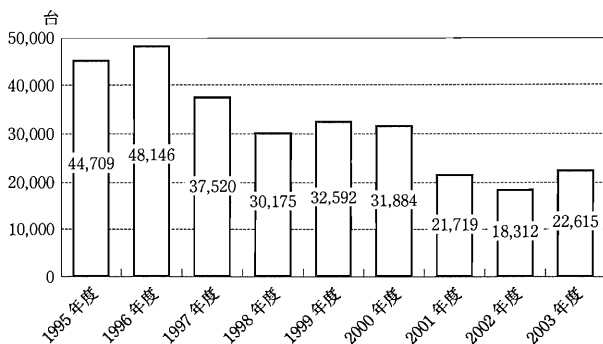


図一 建設機械出荷実績（内需）/建設投資（名目値）

図一に過去9年間の建設機械出荷実績（内需）と建設投資（名目値）の推移を示す。

油圧ショベルの国内出荷台数は、1996年をピークに下降、1990年代終盤には持ち直すかに見えたが、再度下降に転じた。国内建設市場は既に成熟していることから、需要は景気動向、建設投資等によって左右され、これまで推移してきたが、2003年度については、前年度比23.5%増と4年振りに前年度を上回る結果となった。

図二に過去9年間の「油圧ショベル国内出荷台数」の推移を示す。



図二 油圧ショベル国内出荷台数

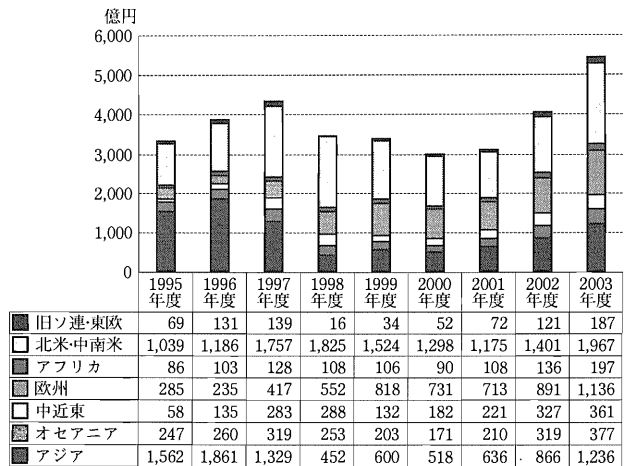
(2) 海外市場

バブル崩壊以降、国内建設機械の各メーカは北米・アジア地区を中心に海外市場の開拓に積極的に取り組み、出荷金額を伸ばして来たが、1999年以降米国の景気減速感、アジア地区の景気低迷などから出荷金額は減少傾向を示していた。2002年度は中国市場向け出荷の急激な伸長に支えられ、増加傾向に転じた。

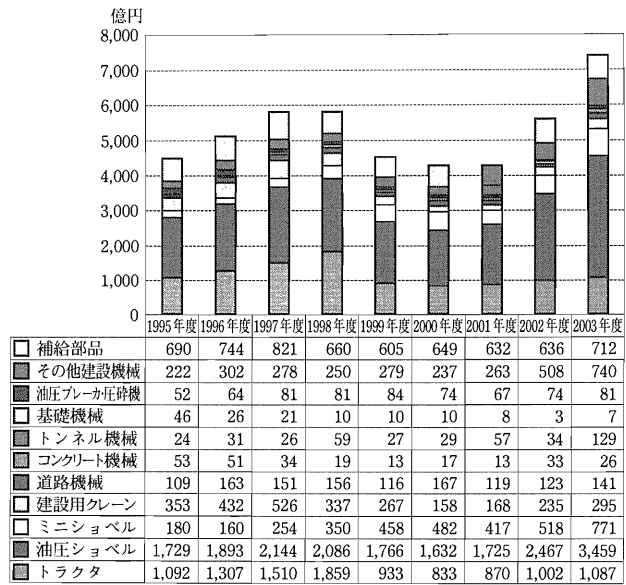
2003年度についても、高成長の著しい中国を中心としたアジア地区が引続き大幅に拡大し、前年度比42.7%増の1,236億円と急増した。また、主要な北米地区も好調な住宅着工や優遇税制を背景に、前年度比40.4%増の1,967億円となり、総額では前年度比32.2%増の7,447億円となった。

図三に過去9年間のコンポーネントを除いた建設機械完成品地域別輸出金額の推移を示す。

製品別では、国内建設機械市場と同様に油圧ショベルの出荷割合



図三 建設機械完成品地域別輸出金額



図四 建設機械別海外出荷金額

が増加してきており、2003年度は総出荷金額の46.5%を占めるに至り、海外市場においても油圧ショベルの需要が増加している。また、ミニショベルについても前年度比48.8%と大幅に増加しており、総出荷金額の10.3%を占めるに至っている。

図-4に建設機械別海外出荷金額の推移を示す。

3. リース・レンタル動向

国内建設業界における建設機械のリース・レンタル化は引き続き上昇傾向にある。国内へ出荷される建設機械の内、リース・レンタル業へ出荷される比率は33.5%と前年度比1.6%増加している。

表-2に補給部品を除いた建設機械本体の業種別（リース・レンタル/その他）国内出荷金額実績の推移を示す。

図-5にリース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）を

示す。国内市場の主力製品である油圧ショベル、ミニショベルのリース・レンタル比率は依然として増加傾向を示しており、今後共この傾向は継続するものと思われる。

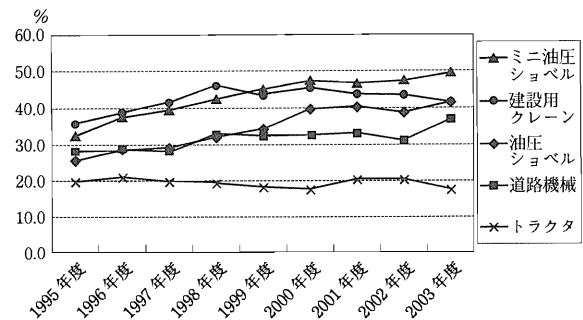


図-5 リース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）

表-2 業種別（リース・レンタル/その他）国内出荷金額実績

(百万円)

		1995年度	1996年度	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度
トラクタ	ユーザ等	103,771	113,959	88,823	70,655	72,173	75,113	69,478	50,435	55,305
	リース・レンタル	25,182	30,570	22,677	17,921	16,922	16,474	18,089	13,177	12,070
	計	128,953	144,529	111,500	88,576	89,095	91,587	87,567	63,612	67,375
油圧ショベル	ユーザ等	281,586	287,539	222,438	168,490	172,588	161,046	112,477	97,831	111,964
	リース・レンタル	95,222	114,823	90,386	79,006	90,792	106,379	76,490	61,690	80,088
	計	376,808	402,362	312,824	247,496	263,380	267,425	188,967	159,521	192,052
ミニショベル	ユーザ等	89,138	87,978	68,568	48,473	45,470	40,588	33,206	26,678	28,675
	リース・レンタル	42,794	52,921	44,601	35,660	37,434	36,470	29,080	24,005	28,547
	計	131,932	140,899	113,169	84,133	82,904	77,058	62,286	50,683	57,222
建設用クレーン	ユーザ等	159,938	178,796	138,509	78,603	68,845	61,643	49,841	42,624	51,665
	リース・レンタル	87,597	112,153	97,142	67,921	52,738	52,444	38,668	33,079	37,059
	計	247,535	290,949	235,651	146,524	121,583	114,087	88,509	75,703	88,724
道路機械	ユーザ等	45,060	48,900	40,638	30,058	26,454	26,708	23,477	22,443	21,587
	リース・レンタル	17,489	20,238	15,775	14,623	12,717	13,046	11,705	10,078	12,856
	計	62,549	69,138	56,413	44,681	39,171	39,754	35,182	32,521	34,443
コンクリート機械	ユーザ等	51,520	58,059	46,137	30,234	27,978	29,894	21,929	18,065	21,228
	リース・レンタル	5,434	4,102	3,198	2,623	2,729	2,718	2,858	2,247	2,727
	計	56,954	62,161	49,335	32,857	30,707	32,612	24,787	20,312	23,955
トンネル機械	ユーザ等	55,133	64,735	61,252	50,975	37,901	36,303	26,742	31,294	34,746
	リース・レンタル	3,931	1,020	2,432	2,348	2,312	1,928	1,761	345	150
	計	59,064	65,755	63,684	53,323	40,213	38,231	28,503	31,639	34,896
基礎機械	ユーザ等	42,375	39,778	28,763	18,722	17,149	15,601	13,184	12,831	12,510
	リース・レンタル	1,943	2,011	2,674	1,744	2,733	2,466	1,083	1,426	1,473
	計	44,318	41,789	31,437	20,466	19,882	18,067	14,267	14,257	13,983
油圧ブレーカ・圧砕機	ユーザ等	22,234	22,862	18,096	10,938	10,915	11,614	12,183	10,541	10,850
	リース・レンタル	1,856	2,641	1,720	4,182	4,520	3,949	1,625	1,217	2,285
	計	24,090	25,503	19,816	15,120	15,435	15,563	13,808	11,758	13,135
その他建設機械	ユーザ等	63,778	57,981	48,696	36,731	40,734	41,338	31,436	30,119	31,233
	リース・レンタル	28,473	32,258	27,397	20,959	20,018	19,570	15,174	13,166	14,372
	計	92,251	90,239	76,093	57,690	60,752	60,908	46,610	43,285	45,605
本体計	ユーザ等	914,533	960,587	761,920	543,879	520,207	499,848	393,953	342,861	379,763
	リース・レンタル	309,921	372,737	308,002	246,987	242,915	255,444	196,533	160,430	191,627
	計	1,224,454	1,333,324	1,069,922	790,866	763,122	755,292	590,486	503,291	571,390
補給部品	ユーザ等	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	リース・レンタル	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	156,471	166,352	156,443	138,426	128,335	126,242	115,766	106,865	106,343
内需計	1,380,925	1,499,676	1,226,365	929,292	891,457	881,534	706,252	610,156	677,733	

注) ユーザ等とは、建設業者、官公庁など、リース・レンタル以外の全てを言う。

統計

4. 中古車市場動向

建設機械中古車の国内市場動向は、国内新車市場の動向だけではなく、海外の中古車市場動向とも密接に関係している。たとえば国内中古車の価格は、国内需要が落ちている現在では海外中古車価格に大きく依存している。また中古車輸出が低迷すれば国内の建設機械ストックが増加し、新車販売にも影響が出ることになる。

過去8年間の中古車発生・新車販売台数（主要6機種）を図-6に、中古車需要の国内・海外構成（主要6機種）を図-7に示す。なお、主要6機種とは油圧ショベル、ミニショベル、クローラトラクタ、ホイールローダ、クローラクレーン、ラフテレーンクレーンである。その他3機種（トラッククレーン、締固め機械、高所作業車）については2000年度以降のデータが無いため省略した。

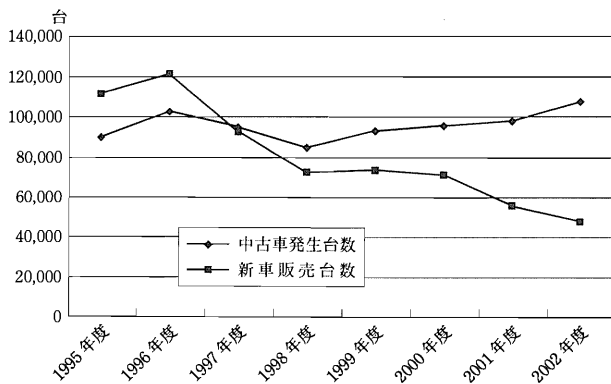


図-6 中古車発生・新車販売台数 (主要6機種)

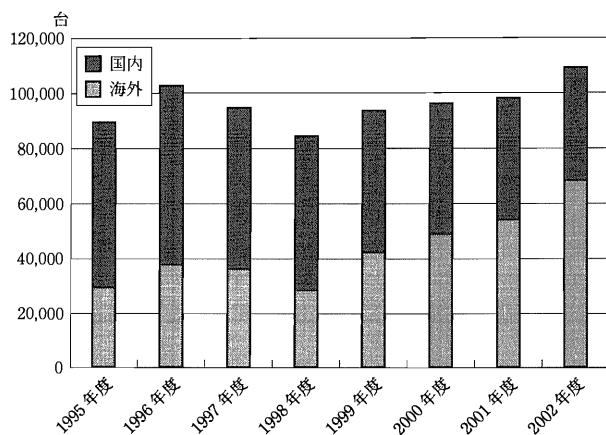


図-7 中古車需要台数の国内・海外構成 (主要6機種)

図-6に示すとおり、1997年度に中古車発生台数が新車販売台数を上廻って以来、新車販売台数の落込みもあって年々その差を広げ、2002年度においては新車販売台数48,500台に対し、中古車発生台数が109,125台と実に約2.3倍にもなった。これはエンド・ユーザが不要機械処分のために、新車購入1台に対して複数台数を下取りに出したり、中古車販売店へ直接売却する等の対策をしていること

や、レンタル会社が保有機を見直し不要機の大量処分をしているためと思われる。また建設機械メーカが低迷している国内新車販売の梃入れのために積極的に下取り車の受入れを進めていることも増加の要因になっている。

需要面においては図-7に示すとおり国内需要は1996年をピークに年々減少している。反面、海外需要は1999年度の大幅増（対前年度比47.3%増）以来年々増加し、2000年度に海外と国内需要が逆転してから、年々その差は広がっている。2002年度には海外需要が68,580台（前年度比25.8%増）と大幅増加、一方でそれに伴い、国内流通分が減少し、40,545台（前年度比8.8%減）となった。

中古車輸出状況を見てみる。図-8は主要6機種の1999年度から2002年度までの4年間の推移を示している。このグラフに示すとおり、機種としては油圧ショベルの割合が圧倒的に高く、主要6機種中のシェアは2002年度には57.9%となっている。これとミニショベル17.7%と合わせると掘削機械のシェアは約76%にもなっている。

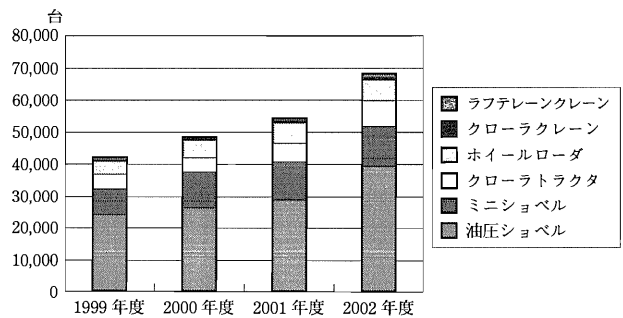


図-8 機種別輸出台数 (主要6機種)

国別の輸出台数については、前年度までの統計資料ではロシア、中近東など一括りにされていた中国が、急速に拡大発展した中古車市場を踏まえて、今回の調査からは香港を含めて中国として取纏められている。それによれば、油圧ショベルにおいては香港を含めた中国向けが台数14,720台、シェア37%と最も大きい。なお、油圧ショベルの国別の第2位はベトナムであり、台数4,150台、シェア10.5%となっている。近年のベトナム経済の躍進振りが垣間見える数字である。

最近の中古車市場状況について言及すると、中古車の販売形態として、大規模なパレードオークションやインターネットオークション、インターネットテンダー（入札）が定着してきた。特に大規模なパレードオークションは国内外のバイヤーが集まり、1回当たりの扱い台数が1,000~2,000台にもなり、中古車流通では重要な手段となってきている。なお、オークションで売買された台数が、2002年度には12,040台（前年度比98%増）となっており、これは中古車販売店へ流れた台数の約15%となっている。

今年に入ってから建設機械大手が相次いで神戸港に中古建設機械のオークション会場を開設しているが、海外バイヤーが集まりやす

く、落札した中古建機を神戸港からすぐに輸出出来る利点がある。反面、中国の景気減速の影響で中古車輸出が落ち込むことも予想される。

5. 建設機械市場の今後の見通し

国内建設機械市場は、公共工事は減少するものの、引続き中古車の海外輸出等により国内保有台数が減少したこと及び更新時期を超

えた機械の入替え需要等により、引続き堅調に推移するものと推測される。

一方、海外市場においては、中国向けは金融引締め等により減少しているものの、他の海外全地域向けでカバーし、全体として好調に推移するものと推測される。

なお、上記掲載統計諸資料は社団法人日本建設機械工業会発表の統計資料による。

大深度地下空間を拓く 建設機械と施工技術

最近の大深度空間施工技術について取りまとめました。
主な内容は鉛直掘削工、単円水平掘削工、複心円水平掘削工、曲線掘削工等の実施例を解説、分類、整理したものです。
工事の調査、計画、施工管理にご利用ください。

定価 2,310円（本体2,200円）送料500円

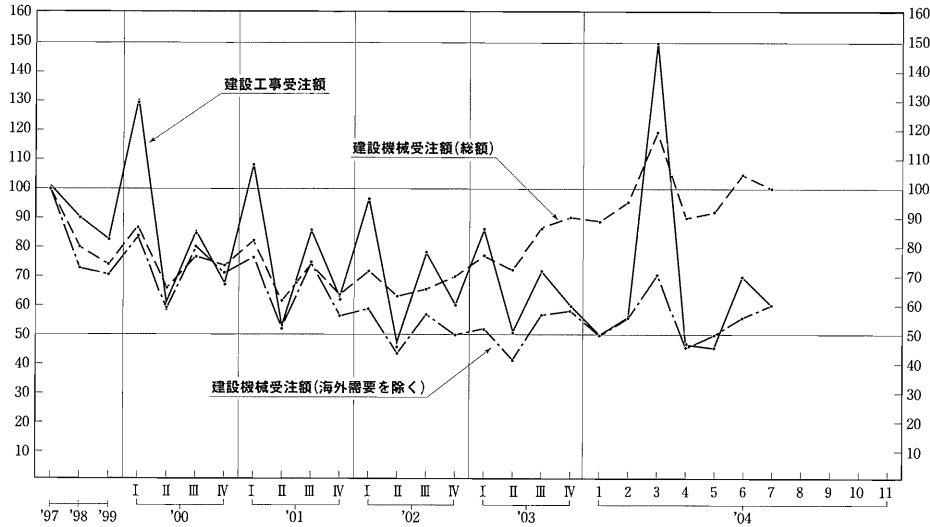
社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8（機械振興会館） Tel. 03(3433)1501 Fax. 03(3432)0289

統計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査（大手50社）（指数基準 1997年平均=100）
 建設機械受注額：機械受注統計調査（建設機械企業数26前後）（指数基準 1997年平均=100）



建設工事受注動態統計調査（大手50社）

（単位：億円）

年月	総計	受注者別						工事種別		未消化 工事高	施工高
		民間			官公庁	その他	海外	建築	土木		
		計	製造業	非製造業							
1997年	188,683	116,190	21,956	94,234	55,485	5,175	11,833	122,737	65,946	204,028	201,180
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2001年	143,383	90,656	15,363	75,293	39,133	6,441	7,153	93,605	49,778	162,832	160,904
2002年	129,862	80,979	11,010	69,970	36,773	5,468	6,641	86,797	43,064	146,863	145,881
2003年	125,436	83,651	12,212	71,441	30,637	5,123	5,935	86,480	38,865	134,414	133,522
2003年7月	9,039	6,001	882	5,119	2,178	379	481	6,209	2,830	137,348	10,548
8月	9,127	5,913	730	5,183	2,495	385	334	6,556	2,571	136,652	9,883
9月	15,655	11,002	1,574	9,428	3,491	510	652	11,400	4,255	139,461	12,860
10月	8,321	5,288	836	4,452	2,288	338	407	5,731	2,590	137,588	10,165
11月	8,891	6,297	851	5,446	1,738	437	419	6,343	2,548	135,082	11,690
12月	10,831	7,216	987	6,228	2,484	445	687	7,724	3,107	134,414	11,288
2004年1月	7,910	4,989	742	4,246	2,129	405	388	5,254	2,656	132,518	9,474
2月	8,884	5,717	1,034	4,683	2,285	449	434	6,112	2,772	130,925	10,702
3月	23,526	15,435	2,484	12,951	6,642	571	878	15,507	8,019	137,397	16,781
4月	7,383	5,867	1,225	4,642	720	259	438	5,571	1,813	136,486	8,919
5月	7,033	5,175	862	4,313	1,098	370	391	5,183	1,851	134,961	8,635
6月	11,032	7,882	1,494	6,388	1,896	465	790	7,791	3,241	136,290	9,561
7月	9,391	6,505	1,230	5,275	2,009	404	473	6,684	2,787	—	—

建設機械受注実績

（単位：億円）

年月	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'03年	7月	8月	9月	10月	11月	12月	'04年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
総額	12,862	10,327	9,471	9,748	8,983	8,667	10,444	865	880	1,030	985	857	1,045	955	1,021	1,291	965	975	1,110	1,076
海外需要	3,931	4,171	3,486	3,586	3,574	4,301	6,071	513	509	563	513	487	676	606	659	800	653	624	718	652
海外需要を除く	8,406	6,156	5,985	6,162	5,409	4,365	4,373	352	371	467	472	370	369	349	362	491	312	351	392	424

（注）1997年～1999年は年平均で、2000年～2003年は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査